バラエティ豊かなラインナップ
チョコエッグ
本物のおいしさ
セコイヤチョコレート
フルタ製菓株式会社
〒544-0023　大阪市生野区林寺6-7-22

菓子・食品・パン関連資材専門紙　流通記者会加盟紙
菓業食品新聞
The Journal of confectionery
URL：http://okashi.info　e-mail：okashi@nespe.com
令和元年　9月22日（日曜日）
（毎月12、22日発行）第2216号
昭和41年7月2日第3種郵便物認可
発行所　〒553-0003 大阪市福島区福島 1-2-12-605
TEL 06(6458)2045 FAX06(6458)6520
株式会社菓業食品新聞社
支社・京都
発行人　狩野　智子　　一カ年　8,400円

日チョコ・ココア協

チョコレート平成30年統計

数量増加、金額は微減

生産数量、前年比0・8％増

輸入はイタリアが大幅増

日本チョコレート・ココア協会によると、過去5年間（平成26～30年）における国内チョコレートの生産数量に関し、30年は25万4700㌧（前年比0・8％増）で微増、5年間で最高となった。

一方、平成30年の国内生産金額は3880億円（昨年3970億円）、小売金額は5370億円（同5500億円）で、微減となった。

また、平成29年、国民1人あたりのチョコレート消費量が2・16kg（前年比2・07kg）となり、1984年より統計を始めて以来、最高を更新したが、30年度に関しては、まだ発表されていない。

チョコレート菓子の輸入に関し、平成30年の数量は2万8128㌧（前年比2・3％増）となった。過去5年間では、2万6千～2万7千㌧台で微増微減をたどっていたが、30年に初めて2万8千㌧台に増加した。

また、平成30年度におけるチョコレート菓子の輸入量最多国は中国、4108トンで、ここ5年間で、4千トン台で推移しており、2位のベルギーより約200トン近く多くなっているが、前年に比べて約422㌧減少、ベルギーは前年よる。なお、今年2月に発り約336㌧増加（同効された日欧EPAにビ1人あたりのチョコレー9・3％増）と、大きくて、ヨーロッパのチョコ商品の関税（10％）が11年かけ段階的に撤廃されることとなり、影響が注目される。

カカオ豆の輸入量に関かは23％減、5位のフランスは13％減となり、国によって大きく違ってい191㌧だった。26年の3万1751㌧から見ると、2倍以上に増加していた。

そこから、ヒ29年は低下し30年には5万8617㌧と再び増加している。輸入先は、ガーナが圧倒的に多く、全体の約75％を占めている。

チョコレート 過去5年間の国内生産数量・金額推移

平成	生産数量（㌧）	生産金額（億円）	小売金額（億円）
26年	231,400	3,510	4,860
27年	231,350	3,640	5,040
28年	238,980	3,800	5,260
29年	252,600	3,970	5,500
30年	254,700	3,880	5,370

主要カカオ豆国別輸入量（平成30年）

	国名	数量（㌧）
1	ガーナ	43,596
2	エクアドル	5,816
3	ベネズエラ	3,813
4	コートジボワール	2,648
5	ドミニカ共和国	1,620
6	ペルー	416
7	ブラジル	280
8	カメルーン	148
9	マダガスカル	79
10	ベトナム	42

チョコレート菓子輸入統計（平成30年）

	国名	数量（kg）
1	中国	4,108,384
2	ベルギー	3,934,754
3	イタリア	3,180,558
4	アメリカ	2,899,329
5	フランス	2,623,833
6	マレーシア	1,991,131
7	ドイツ	1,294,019
8	スイス	1,122,883
9	シンガポール	919,098
10	韓国	892,112

第4のチョコレート「ルビー」世界に発信

業務用チョコレートの製造で世界最大手のバリーカレボー社（スイス）が平成29年9月、ユニークな発想と長年培ってきた高度な技術を生かし、まったく新しいカテゴリーのチョコレート「ルビーチョコレート」を10年かけて開発してから2年が経過した。着色料も、フルーツのフレーバーも一切使用していないにもかかわらず、明るく華やかなピンク色と、ベリーの果実のような風味を感じさせる爽やかな酸味が特長でダーク、ミルク、ホワイトに次ぐ「第4のチョコレート」とも呼ばれ、ネスレ社が昨年1月に初めて「キットカット」ブランドで商品化しヒットしている。ピンク色で、ギフトにピッタリのチョコレートである。他社においても、新たな商品展開が今秋にも登場する。そのうちの一つであるフルタ製菓㈱の「ルビーチョコレートバー」は、9月16日より発売されている。（詳細は9面）

健康博覧会2020

健康産業最大のトレードショー

UBMジャパン㈱主催の「健康博覧会2020」（後援＝厚生労働省、農林水産省、日本貿易振興機構）が、令和2年3月17日（火）～19日（木）の3日間、東京ビッグサイトにて開催される。

同博覧会では、国の成長戦略の一環として、健康寿命延伸産業の活性化に向けた取り組みが推進されており「健康寿命の延伸」をテーマとした健康産業最大、企業間の商取引を目的としたビジネストレードショーである。今回で第38回目となり、健康食品・サプリメント、健康機器、ビューティ&エイジングケア、スポーツコンディショニング、オーガニック&ナチュラル・プロダクツの健康食品、健康菓子、健康油、健康調味料など、幅広くPRする。健康食品・サプリメント展では機能性表示食品、サプリメントをはじめ、健康茶、健康飲料、ミネラル5つの分野に分けて展示される。出展規模は約600社以上、来場者数40万人以上、50を超えるセミナーを目標とする。

2面 全菓連近畿ブロック会議
6～7面 飯田半生菓子特集
10面 京都府「京上菓子」指定